

ニューズレター

(2021.6.15)

[2020 年度活動報告]

目次

- 1 理事長挨拶
- 2 ニュース
電子版英文ジャーナルの刊行
- 3 活動報告
 - 3-1 講演会・公開シンポジウム
 - 3-2 加盟学会の全国大会情報の提供
 - 3-3 理事会・評議員会
- 4 決算・予算
 - 2020 年度決算報告（収支決算書、財産目録、監査報告書）
 - 2021 年度の収支予算案

経営関連学会協議会

【事務局】株式会社 UNIPH 内

Email : info@jfmra.org

FAX:03-6745-9668

I 理事長挨拶

学術としての経営学の地位向上と更なる発展を目指して

第 6 期理事長 上林憲雄

第 6 期理事長に就任いたしました,日本経営学会選養出の上林憲雄と申します。向こう 3 年の任期の間,大変お世話になりますが,どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

経営関連学会協議会の目的は,会則第 2 条に定められていますように,経営に関連する研究の発展と知識の普及,経営関連の研究・教育を通じた社会貢献,関連諸学会と研究者

間の交流の促進、海外の研究者との協力の推進、日本学術会議との連携の促進といった点にあります。要は、広義の「経営学」が、広く学術の一角をなす領域として社会から認知され、更なる発展を遂げられるよう努めることが、当協議会に課せられた使命であると理解しております。

浅学非才なわたくしがこうした崇高な目的の達成にどこまで貢献できるか、はなはだ心許ない限りではありますが、理事長に就任した以上、その責務から逃げるわけにはまいりません。微力ながら、これまでの経験と知識を駆使し、持てる力を最大限に発揮して精一杯努力してまいる所存です。

さて、広義の「経営学」の学術的な特徴については、今さらここで申すまでもないことですが、経営・会計・商学・情報といったそれぞれの領域において、さまざまなバックグラウンドや方法論から接近され、いわば学術上の分業体制のもと、各領域が新たな知見や概念を開発し、高度な発展を続けていることに大きな特徴があると考えております。

方法論的には、経営学はもとより、それ以外にも経済学や社会学、心理学、工学、歴史学、人文学など多種多様なバックグラウンドを有する研究者が相互に協力し合いながら、複雑な経営現象を総合的に解明しようとしているという点にこそ、他学間にはない経営学固有の大きな特徴があると私自身は提えております。周知のように、当協議会には 56 もの個別の学会が加盟しており、自然科学など他領域を含めても類を見ないほど多数の学会が協同し、協議会を構成しております。

こうした経営学の総合性、下位領域の多岐性は、各々の領域がその独自の知見を見出し発展を遂げているという点において、対象の複雑性や学問の多様性を示すものであり、今後の更なる発展可能性を秘めているとも捉えられますので、大いに歓迎すべきことではあります。ただ、裏を返していえば、こうした経営学固有の特性は、ややもすれば「経営学」という学問全体としての統一性や体系性、下位領域相互間の緊密性を欠き、各々の領域内に閉じた形での発展になってしまいがちで、学術としての「経営学」全体としての確固たる位置づけや、その意義に係る情報の発信が困難であることもまた、同時に示唆しているといえなくもありません。

「経営学」が、それぞれの各個別領域における単なる知識の寄せ集めではない、学術の重要な一部として社会から認知を受けるためには、下位領域間の相互に緊密な関係性の構築のほか、経営学全体としての社会との交流、我が国の学術政策に深く関与している日本学術会議との連携といった、経営関連諸学全体としての一体的な行動が不可欠となってきます。これらの諸活動を実のあるものとしていくうえで、当協議会は極めて重要な役割を担っているものと認識しておりますので、構成学会各位におかれましては、どうか当協議会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、理事長として衷心からのお願いを申し上げます。

皆様のご協力のもと、広義の「経営学」の各領域がそれぞれにおける知見を発展させつつも、同時に経営学全体としての一体性や体系性にも留意し、協議会として一致団結して活動を展開していくことで、経営学の学術としての地位を向上させ、未来へ向けた新しい経営学を創造していくことができればと、理事長として切に願っておる次第です。

以上、簡単で恐縮ですが、理事長就任にあたっての冒頭のご挨拶とさせていただきます。ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2 ニュース

◆ 電子版英文ジャーナルの発行

ニューズレター 第11号 (2021.3.31)用 JJMの部分について

◆ 電子版英文ジャーナルの発行

経営関連学会協議会では、電子版英文ジャーナル *Journal of Japanese Management (JJM)* を 2016 年から年に 2 回（5 月、11 月）のペースで発行しています。

経営関連学会協議会のウェブサイト (<http://www.jfmra.org/jjm/>) に電子公開されており、「投稿規程」、「執筆細則」、「投稿締切日」などの説明も掲載されています。

JJM の目的は、経営関連学会協議会関係者の論文を海外発信することであり、加盟する構成学会の会員は、JJM に投稿することができます。このほかに、学会推薦論文、国際会議発表論文の投稿も可能となりました。3つのカテゴリーの研究論文は査読の結果により掲載の可否が決定されます。

2020 年は、5 月に Vol.4 No.2 を発刊(前号で既報)のあと、11 月に Vol.5 No.1 を発刊いたしました。掲載論文は、次の目次をご参照願います。なお、2021 年 5 月に通算して第 10 号となる Vol.5 No.2 を発刊する準備中です。

<目次>

Journal of Japanese Management(JJM) [ISSN 2189-9592] Vol.5 No.1 November 2020

Strategy and Management Behavior of Medical Malls: Focusing on Competition over Location and Clinical Departments

p.1 Atsushi Ito

Effect of Empowering Leadership on Creativity and Ability of Employees: Comparison of Regular and Non-Regular Employees

p.18 Kou Kitano, Mikiyoshi Aoki and Masayoshi Toma

Government Evaluations in Japan's Municipalities Based on Nationwide Survey Data p.35

Yasutoshi Moteki

Recommended Paper by Japan Cost Accounting Association

Clarification of characteristics required for cost information: Building a framework of "Cost information quality"

p.51

Keita Iwasawa

3 活動報告

◆講演会、シンポジウム

経営関連学会協議会では、56 加盟学会の専門領域が広域にわたることを踏まえて、広義のテーマでの公開シンポジウム・講演会等を開催しております。2020 年度中には、以下のような公開講演会、公開シンポジウムを開催いたしました。コロナ禍の影響により延期した 10 月の講演会はオンラインで行い、12 月のシンポジウムは体面で実施し、3 月の講演会は体面と Zoom オンラインの併用で無事安全に実施いたしました。

なお、これらの公開講演会・シンポジウムの記録は、経営関連学会協議会のウェブサイトですべて閲覧することができます。（「協議会の活動」→「イベント」→報告・記録）

[イベント - 経営関連学会協議会 \(jfmra.org\)](http://jfmra.org)

経営関連学会協議会 公開講演会

日時: 2020 年 10 月 10 日(土) 14 時 00 分～15 時 30 分

開催方法: Zoom オンライン

テーマ: 「学術としての経営学の発展と最近の動向 ―若手研究者の育成と業績評価の在り方―」

講師: 上林憲雄先生 前日本学術会議経営学委員会副委員長

日本経営学会理事長、神戸大学大学院経営学研究科教授

司会: 植木英雄氏 経営関連学会協議会副理事長

経営関連学会協議会 公開シンポジウム

日時: 2020 年 12 月 5 日(土) 13 時 50 分～17 時 10 分

場所: 専修大学神田キャンパス 10 号館 10031 教室

テーマ: 「SDGs 時代の ESG 経営と統合報告の展望」

シンポジウム講師:

伊藤和憲氏 専修大学商学部教授

柳 良平氏 エーザイ(株)専務執行役 CFO、早稲田大学大学院客員教授

今野愛美氏 アビームコンサルティング(株)P&TD FMC シニアマネジャー

橋爪麻紀子氏(株)日本総合研究所 ESG リーチセンター マネジャー

パネル討論会:

司会・コメンテータ: 橋爪麻紀子氏

総合司会: 植木英雄氏 経営関連学会協議会副理事長

経営関連学会協議会 公開講演会

日時: 2021 年 3 月 13 日(土) 14 時～15 時 30 分

講演会場: 専修大学神田校舎 1 号館 301 号室

Zoom オンラインと併用

テーマ：「イノベーションの社会実装：プラチナ社会の実現を目指して
～コロナを奇貨として未来へ向かおう～」

講師：小宮山 宏氏 三菱総合研究所理事長、プラチナ構想ネットワーク会長
東京大学 第28代総長

司会：植木英雄氏 経営関連学会協議会副理事長

【会計資料1】

経営関連学会協議会

2020年度 収支決算書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

		(単位：円)		
		予算額	決算額 (執行状況)	差異
I 収入の部				
会費収入	当年度	1,650,000	1,380,000	△ 270,000 (46学会)
	過年度	360,000	210,000	△ 150,000 (6学会7年分)
	翌年度	0	30,000	30,000 (1学会)
論文掲載料収入		50,000	70,000	20,000 (7本)
受取利息収入		10	6	△ 4
雑収入		0	50,000	50,000 (派遣補助費返金)
当期収入合計		2,060,010	1,740,006	△ 320,004
II 支出の部				
事務局費		20,000	18,590	△ 1,410
事務運営費		150,000	145,760	△ 4,240

HP 運営・事務局業務委託費	388,800	396,000	7,200	(差異は消費税分)
ニューズレター作成費	0	0	0	
理事会費	100,000	43,291	△ 56,709	
役員交通費	210,000	28,340	△ 181,660	
評議員会費	100,000	5,291	△ 94,709	
委員会費	0	0	0	
シンポジウム・講演会等開催費	311,000	191,644	△ 119,356	
英文ジャーナル発刊費	250,000	335,000	85,000	
開催・派遣・招聘補助費	200,000	0	△ 200,000	
法人化準備費	100,000	0	△ 100,000	
予備費	100,000	206,444	106,444	(役員選挙支出)
当期支出合計	1,929,800	1,370,360	△ 559,440	
当期収支差額	130,210	369,646	239,436	
前期繰越額	3,844,513	3,844,513	0	
次期繰越額	3,974,723	4,214,159	239,436	

経営関連学会協議会

財 産 目 録

(2021年3月31日現在)

(単位：
円)

財産種目		金 額
財産の部		
1. 手許現金		0
2. ゆうちょ銀行口座	内訳	
(1) 通常貯金	304,159	
(2) 払込口座	3,910,000	4,214,159
		<u>4,214,159</u>
	合 計	<u><u>4,214,159</u></u>

監査報告書

経営関連学会協議会 殿

私たちは、2021年4月24日(土)に東京都新宿区神楽坂2丁目16にあるMSビル205号室において経営関連学会協議会の2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の収支決算書および現金残高を預金通帳とその他の書類に基づき監査致しました。その結果、収支の状況を適正に表示しているものと認めましたので、ここにご報告申し上げます。

2021年4月24日(土)

経営関連学会協議会 理事会

監事(第5期)井原久光 

監事(第5期)梅田勝利 